

2014年
夏
第77号

市民と議会を結び情報誌

ほうれん草通信

兵庫県議 丸尾まき 県政レポート



ほうれん草通信HP →ほうれん草通信 <http://www.ne.jp/asahi/maruo/hourensou/>

南海トラフ巨大地震への備えを！

兵庫県最大被害想定 震度7 全壊38500棟 死者29100人

今後、30年以内に東海地震が発生する可能性は88パーセント、東南海地震は60%、私たちに最も影響の大きい南海地震は60~70%とされています。3連動の地震もありうるとのこと。

下表は、この6月に兵庫県が作った南海地震が起こった時の最大の被害想定です。

死者数見込みの内訳は、津波によるもの約28,000人、揺れによるものが約1,050人、火災によるものが約50人ですが、津波による被害を回避できれば、死者数を激減させることができます。

南海トラフ地震 最大被害想定 (夏の昼間12時発災)

自治体名	震度	最高津波 水位 (m)	津波最短到達 時間 (分)	全壊棟数	浸水深 50cm 以上建物数	死者数	うち津波 死者数
南あわじ市	7	8.1	44	11255	3170	1473	1171
尼崎市	6強	4.0	117	2180	17736	8343	8291
神戸市	6強	3.9	83	2716	8531	9344	9264
姫路市	6強	2.5	120	2014	2108	404	293
西宮市	6弱	3.7	112	732	12559	6974	6967
芦屋市	6弱	3.7	111	51	1015	142	142

南海トラフ地震津波浸水想定図を事前に確認を！

尼崎市浸水想定図は尼崎市報2月号に掲載されましたが、未確認の方は、県HPにある南海トラフ地震の津波浸水想定図をご確認下さい。最大想定図ですが、想定外の津波が来ることもあり

得るので、津波の浸水対象になっていない地域の方も、避難場所等は事前に確認しておいて下さい。

<県HP 津波浸水想定図>

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/nannkaitorahukyodaizisinntunamisinnssuisouteizu.html>

目次

【P1,2】南海トラフ地震への備えを 手話言語条例制定と全ての人に優しい県立病院(手話通訳士配置等)

【P3】医療用麻薬の積極的活用と尊厳死意思表示

【P4,5】兵庫県 放射性物質拡散詳細予測公表

【P6】公共施設老朽化問題

【P7】高校通学区変更、中学校給食orクーラー

【P8】県議会事務局長から費用弁償158万円受取要請

Contents

安らかな死を迎えるために

医療用麻薬の積極的活用と尊厳死の意思表示を

■癌などの痛みコントロールのために、モルヒネなどの医療用麻薬は、世界で一般的に使われています。しかし、日本は麻薬アレルギーが強いのか、表にあるように世界の主要国と比べ、使用量が極端に少ない状況です。医療用麻薬はきちんと管理して使えば、問題ありません。逆に、痛みの弱い段階であれば麻薬を使い痛み

コントロールできたものが、痛みが強くなってから使うことで、痛みコントロールが十分にできないこともあるようです。

■全国の自治体と比較しても、兵庫県の医療用麻薬は少ないことから、丸尾は、医師の養成を含め緩和ケア医療の充実を県議会で求めました。

医療用麻薬使用量(モルヒネ、フェンタニル、オキシコドン)の合計(100万人1日あたりモルヒネ消費量換算g)

	2000~02	01~03	02~04	03~05	04~06	05~07	06~08	07~09
日本	25.9	38.8	49.2	60.8	68.7	76.7	82.9	96.8
オーストリア	471.9	547.9	631.2	734.4	880.7	1100.8	1313	1502.2
カナダ	484.3	615.8	790.6	884	1049.3	1227.8	1337.1	1588.5
オーストラリア	265.8	299.3	333.1	362.6	410.8	496.6	616.5	753.8
アメリカ	711.4	872.2	1030.4	1203	1355.4	1514.6	1639.4	1725
フランス	274.3	305.5	329.8	377.9	459.1	556.2	601.1	637
イギリス	152.7	151.6	184.7	251.9	295.5	270.2	287.5	320.5
ドイツ	352.5	425.9	581.1	726.8	1082.3	1336.4	1523.3	1413.2
イタリア	46.6	72.2	94.6	123.2	140	157.4	191.7	266.2
韓国	21	21	18.2	22.7	36.2	55.8	84.2	124.2

都道府県別医療用麻薬使用量(2011年)

兵庫県立病院モルヒネ使用量

都道府県	人口(千人)	モルヒネ換算合計(g)	人口あたり(g/千人)		2009	2010	2011	2012
全国	127,799	5,251,049,301	41.088	尼崎	297	285.5	189.7	212.5
秋田県	1,075	67,703,733	62.98	塚口	29.4	11.8	14	13.9
東京都	13,196	583,621,509	44.227	西宮	34.6	27.7	24.3	18.6
滋賀県	1,414	38,446,234	27.19	がん	435.7	345.6	294	259.7
大阪府	8,861	364,187,919	41.1	こども	15	21.2	35.6	12
兵庫県	5,582	207,333,755	37.143	合計	1017.4	977.3	923.8	936.9

単位：g 1年間は麻薬帳簿に準じ10月～9月

望まない人は、終末期の延命治療をしないよう求める意思表示しましょう！

■日本尊厳死協会が、尊厳死の宣言書(リビング・ウィル)として、「現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると診断された場合、死期を引き延ばすためだけの延命措置は断る。ただしこの場合、苦痛を和らげるため、麻薬な

どの適切な使用により十分な緩和医療を行うこと」などを宣言することを奨励しています。終末期に延命措置をするのかしないのか、事前に家族で話し合っておき、延命治療を望まないことを文書しておくのも一案です。